

輪笑

輪笑

藤枝市の中心部、藤枝税務署の北側に“ほつとな居場所 輪笑”はあります。県内初のオレンジカフェ(認知症カフェ)としてだけでなく、誰もが気兼ねなく過ごすことのできる居場所として、市内でも先駆的に取り組んでいる場所と言えるでしょう。



輪笑

利用できるのは毎週水・木・金曜の10～15時。お伺いした日の午前中は「よっしーさんと歌おう」と題し、ボランティアのよっしーさんご夫妻による楽しいお喋りとギター伴奏で、歌声と笑い声に部屋中が包まれていました。

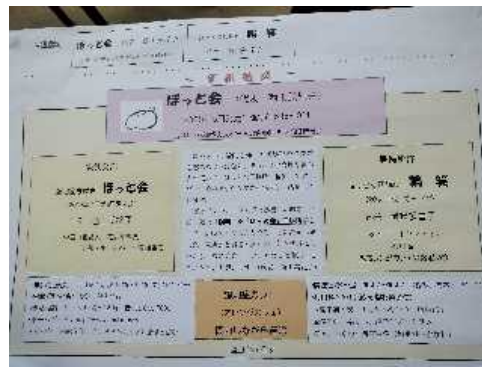
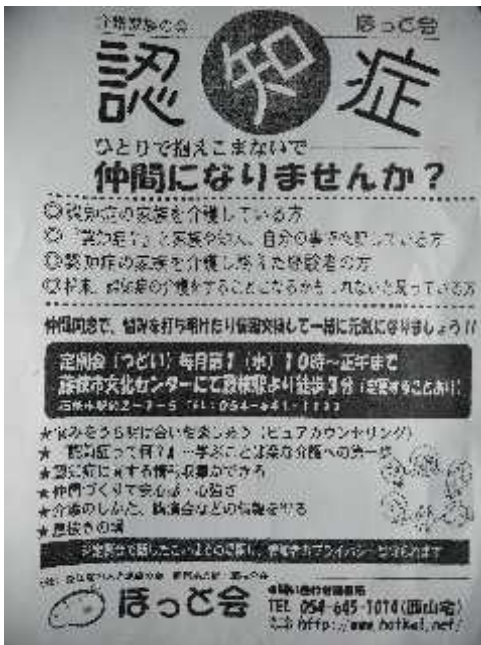
他の日も、午前中は「ふまねっと」等の介護予防メニューや簡単な筋トレ、手芸や折り紙等を行いながら、人との交流や仲間作りを、また地域包括センターの職員さんが在中して、介護や福祉の悩みごと相談ができる場としても貴重な存在になっています。



輪笑

輪笑

〈たっぷり歌って笑った後は、楽しくお喋りしながらティータイム〉



輪笑

輪笑
 そもそもは認知症の母親と暮らしながら、その介護をする人の孤立化が気になっていた西山美紀子さんが、「介護者だけでなく誰もが気軽に喋りできる垣根のない居場所」として、26年5月にオープン。岡嶋多喜子さんと共に、ボランティアスタッフさんら沢山の力添えを励みに笑顔で奮闘されていますが、やはり運営はなかなか大変とのこと。
 福祉の枠組みが流動化している今、公的な支援を受けたい思いや、ここに集まる皆さんに今の形で過ごしてほしいという思い等、ジレンマとも戦いながら、そんなことは感じさせない笑顔・笑顔です。



輪笑
 <左>午後たくさんの人がお喋りを楽しんでいますから

輪笑
 <右>居場所部会代表の岡嶋さん(左)と午後
 加わったボランティアスタッフさん

「会員さんやボランティアさん、来て下さる皆さんに本当に支えて頂いて、できているんですよ」と話す岡嶋さん。長寿社会が進む程に避けては通れない「介護」のこれからについて、思いの強さでできる事と、それだけでは前に進んで行けない事のあれこれを考えさせられました。
 今は元気で実感がなくても、皆ができることを提供しながら支えあう温かみのある地域社会を熟成させていかないと、未来は明るくならない…。笑顔の後ろ側にある課題を私もいただきました。

志太榛北地区担当特派員 増田昌江